

令和3年度予算フレーム

【歳出・歳入の状況】

(単位：億円)

	2年度予算(当初)	3年度予算	2' → 3'	備 考	
(歳 出)					
一 般 歳 出	617,184	669,020	51,837	○ 医療費動向を踏まえた前年度の土台からの実質的な伸びは+0.35兆円。 ○ 公債依存度40.9% ○ 建設公債 令2：7兆1,100億円 → 令3：6兆3,410億円 特例公債 令2：25兆4,462億円 → 令3：37兆2,560億円 ○ 財政収支赤字(利払費相当分と政策的支出による赤字相当分の公債金の合計)は28.9兆円。	
社会保障関係費	356,914	358,421	1,507		
社会保障関係費以外	260,269	260,599	330		
新型コロナウイルス感染症対策予備費	-	50,000	50,000		
地方交付税交付金等	158,093	159,489	1,396		
国 債 費	233,515	237,588	4,072		
うち債務償還費(交付国債分を除く)	145,394	147,317	1,923		
うち利払費	83,904	85,036	1,132		
小 計	1,008,791	1,066,097	57,306		
臨時・特別の措置	17,788	-	△17,788		
計	1,026,580	1,066,097	39,517		
(歳 入)					
税 収	635,130	574,480	△60,650		
その他の収入	65,888	55,647	△10,241		
公債金(歳出と税収等との差額)	325,562	435,970	110,408		
債務償還費相当分(交付国債分を除く)	145,394	147,317	1,923		
利払費相当分	83,904	85,036	1,132		
政策的支出による赤字(基礎的財政収支赤字)相当分	96,264	203,617	107,353		
計	1,026,580	1,066,097	39,517		

(注1) 「社会保障関係費」、「社会保障関係費以外」の2年度予算は、3年度予算との比較対照のため、組替えをしてある。

(注2) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

(注3) 税収には印紙収入を含む。

(注4) 公債金の分類は基礎的財政収支や財政収支の観点から行ったものであり、公債金による収入が直ちに債務償還費や利払費に充当されることを意味するものではないことから、「相当分」としている。

(注5) 現行の特例公債法は5年間の特例公債の発行根拠を定めており、2年度末で期限を迎える。このため、更に5年間の特例公債の発行根拠を設ける法案を提出する方向で検討中。

【普通国債残高等の状況】

(単位：兆円)

	2年度末見込み (2年度当初予算ベース)	3年度末見込み (3年度予算ベース)	2' → 3'	備 考
普通国債残高	906.0	990.3	84.3	○ 財政収支赤字 28.9兆円程度 2年度補正予算における公債追加 80.0兆円程度 前倒債の減 ▲23.0兆円程度 発行実績の反映等 ▲1.5兆円程度 合 計 84.3兆円程度
名目GDP	570.2	559.5	▲10.7	
普通国債残高/GDP比	158.9%	177.0%	18.1%	
(参考) 国債発行予定額	141.5	191.0	49.5	
うち一般会計における発行額	32.6	43.6	11.0	
うち国債整理基金特別会計における発行額	108.0	147.2	39.2	

(注) 名目GDPは当該年度における政府経済見通しによる年度値。